



# 入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子

2019年2月13日  
No. 13  
TEL 46-2655  
FAX 46-2654

学校教育目標：命とふるさとを大切にすることの育成

目指す児童像：《一はきはき一 てきぱき一 にこにこ一》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子

心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

## 学習参観日：保護者全体会～年度末を迎えて思うこと～

### 進学・進級に向けて・・・学習，生活のまとめに励む子供たち

宮城県内の小・中学校では，インフルエンザ罹患者が多い中，町内の学校では，少しずつ罹患者も落ち着いているようです。現時点で，本校では，インフルエンザ罹患者はおりません。今後とも，学校，家庭が連携し，予防の徹底を図っていきたいと思います。

さて，3学期も半ばとなり，6年生は卒業に向けての取り組みが進んでいるところです。15名の6年生には，教育諸活動において，下級生に仕事を教える姿がみられます。さらに，卒業まで小学校生活のまとめをしっかりと行い，この入谷小学校で学んだことを誇りに希望をもって中学校生活をスタートしてほしいと思います。

他の学年の児童にとっても，1年間のまとめをする大切な時期です。各学年の学習内容はもちろん，基本的な生活習慣をしっかりと身に付けて，“こんなことができるようになったよ”と胸を張って，修了式を迎えてほしいと思います。

### 平成28年度「みやぎっ子ルール推進優良団体受賞

### 『みやぎっ子ルール』とは…規則正しい毎日の生活リズム推進・継続

### しっかり寝ル きちんと食ベル よく遊ブ で健やかに伸びル

「はやね・はやおき・あさごはん」等，規則正しい毎日の生活リズムは，子供たちの心，体，知能の健全な成長に欠かすことのできないものです。

近年，社会生活の変化とともに，子供の基本的な生活習慣の乱れが指摘されていますが，望ましい生活リズム確立のためには，家庭だけでなく，学校，地域，企業，民間団体などがお互いに協力して取り組んでいくことが望まれます。

このため，次代を担う子供たちの生活習慣の確立に賛同する組織，団体，企業等を会員とした「みやぎっ子ルール推進会議」を平成21年11月30日に設立しそれぞれの立場で取組を実践していくために，必要な情報共有や意見交換等を行ってきました。

みやぎっ子ルール推進会議は，子供の基本的な生活習慣の確立に向けた推進と普及啓発を図るため顕著な取組を行っている県内の団体等を表彰しています。

平成28年度は，18団体が「みやぎっ子ルール推進優良活動団体」として選ばれ，入谷小学校も受賞いたしました。

この受賞は，家庭，地域，学校の連携した取組が認められ，とても素晴らしいことだと思います。今後も入谷小学校の子供たちの基本的な生活習慣の見直しと，さらなる推進を図っていききたいと思います。

今後とも，ご理解とご協力の程，よろしくお願いいたします。



## 今、子供たちに伝えたいこと・・・「志を高く掲げる」

「志を高く掲げる」とは・・・



“志”というのは、心に決めた目標や信念のことです。  
つまり、“志を高く掲げる”とは、高い目標や信念をもつという意味です。

卒業文集

本田圭佑選手の卒業文集から・・・



現在、オーストラリアのプロサッカーリーグ、メルボルン・ビクトリーFCに所属する本田圭佑選手は、小学校の卒業文集に、「ぼくは大人になったら、世界一のサッカー選手になりたい。世界一になるには、世界一練習しないとダメだ。だから、今、ぼくはガンバっている。(中略)ぼくは、外国から呼ばれてヨーロッパのセリエAに入団します。そしてレギュラーになって、10番で活躍します」と書いています。

書いたからと言って、実現できるものではないでしょう。しかし、そうした目標や信念をもたなければ始まらないのもまた事実ではないでしょうか。目標があって、その目標に向かって信念をもつて頑張ってきたからこそ、2013年11月のセリエAの移籍が、しかも背番号10番という形で実現したのだと思います。

大リーガーのイチロー選手、プロゴルファーの石川遼選手も、本田選手と同じように、今の自分につながっている目標を小学校の卒業文集に書き記しています。それは決して偶然ではないでしょう。



目標（夢や希望）をもとう！



入谷小学校の子供たちには、目標（夢や希望）をしっかりとってほしいと思います。夢や希望は、人と比べるものではありません。周りから見たらどんなにささやかなことでも、自分にとって価値のあるものなら、志は高いのです。

本田選手は、イタリアセリエA入団会見後のインタビューで、「階段を一步一步上っていけば、届かない夢はないということを、子供たちに伝えたい」と言っていました。志を高く掲げ、自らが思い定めたことに向かって、こつこつと努力することを大切にしてほしいと思います。

将来のお子さんの夢についてじっくり語り合う機会を設けてください！

一人一人の子供たちには、未知なる可能性があります。年度末にあたり、それぞれの発達段階に応じて、子供たちの将来の夢についてご家庭でも、じっくり語り合える機会を設けてほしいと思います

学校でも、充実した志教育を推進していきたいと思っています。

